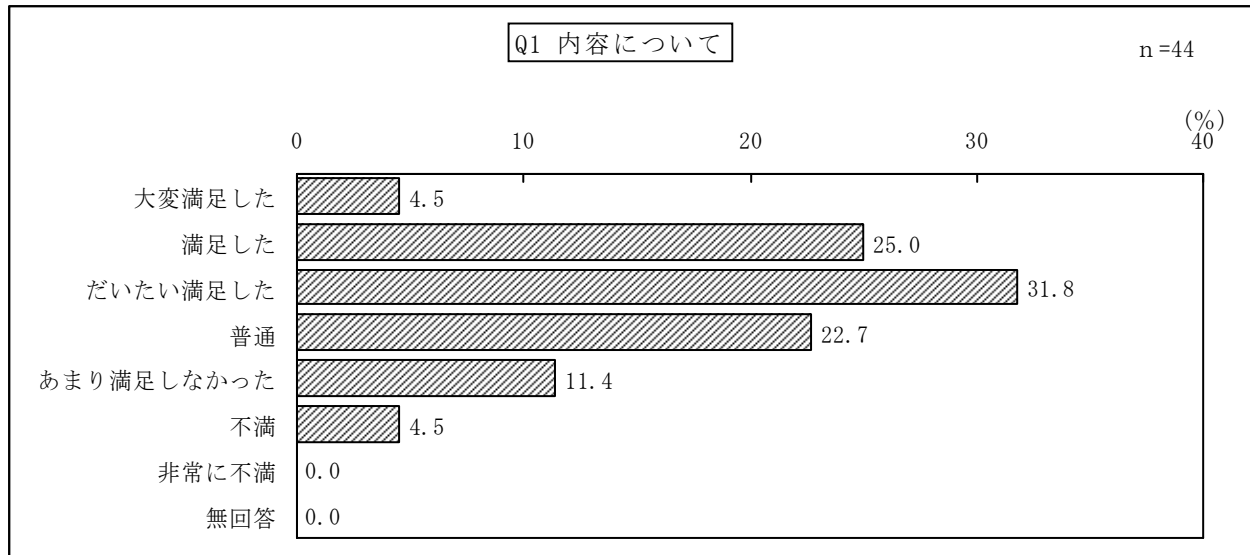


「原子力委員会 市民参加懇談会 in 鹿児島」についてのアンケート結果

1. 本日の「原子力委員会 市民参加懇談会 in 鹿児島」の内容、雰囲気について、あなたのお考えに最も近いものを番号に○印をお付け下さい。



その理由について

< 1 > 大変満足した

- 様々な方々の意見や考え方を知ることができた。(性別不明・20～30代)
- お友達5名にお願いしていたのに、1人しか出席しなく、とても心残りでした。(女性・60代以上)

< 2 > 満足した

- 多方面の意見、賛否両方の意見が聞けた。(男性・40～50代)
- 原子力の安全性、必要性を定性ではなく定量的に情報公開していくことを積極的に進めて欲しい。(性別不明・40～50代)
- 第2部も活発で何よりです。これくらいの客数でも内容十分だったので充実していたと思います。(女性・20～30代)
- 原子力反対意見のみではなく、賛成意見もあり、良かった。(男性・40～50代)

< 3 > だいたい満足した

- 地元の声に耳を傾け、疑問の解明になったと思う。(男性・20～30代)
- 正確なデータ等に基づく議論を増やして欲しい。(男性・60代以上)
- もっと市民参加の議論が必要なことが分かった。(男性・40～50代)
- 意見は慎重派の方の場となり、一方通告的に受取られる。もっと賛否両論の意見交換の場が必要。(男性・40～50代)
- 原子力を推進する人としらない人が、原子力委員会という公平の場で議論することは必要と考えるため。(男性・40～50代)

- 専門的な情報を得ることができたので。(男性・20～30代)
- 多様な考えに接することができる。(男性・40～50)
- 市民の意見を直接聞く場としてよかった。インターネット上だけでなく、直接聞ける場だった。(男性・60代以上)
- エネルギーにたよるにはやはり原子力も必要である。全てに於いて相対するのだから、すべてが悪い者ではない。どんなものでも100%安心・安全なものはないけど、安全にしてもらいたい。(女性・60代以上)
- 積極的なパネルディスカッションとなっていた。(男性・40～50代)
- エネルギー講演会では専門家は1～2名のことが多いので、今日は多くの方の意見を一度で聴くことができてよかった。ただ、「原子力～知りたい情報は…」のテーマに沿っていないトークも多かったように感じた。(女性・20～30代)
- 直接活かせる話が必要です。(男性・40～50代)

< 4 > ふつう

- いろいろな意見があり、面白かったが、前提となる情報がないままの議論で、的外れな質問や意見も多かった。(女性・20～30代)
- いろいろな勉強になった。今後も原発、地球問題を考える。(男性・40～50代)
- 参加者は関心が高い人であり、いかに関心のない人に伝えるかが必要。(性別不明・40～50代)
- パネリスト間の議論をより活発にやっていただきたかった。(男性・20～30代)
- 限られた時間と参加されたパネリストの数を考えると、きわだった考えに当るかなと思いました。いわば一般的な考えに落ち着いてしまったような感じがします。新エネルギーとか再生エネルギー等への取り組みも検討が不足しているような感じがしました。(男性・60代以上)

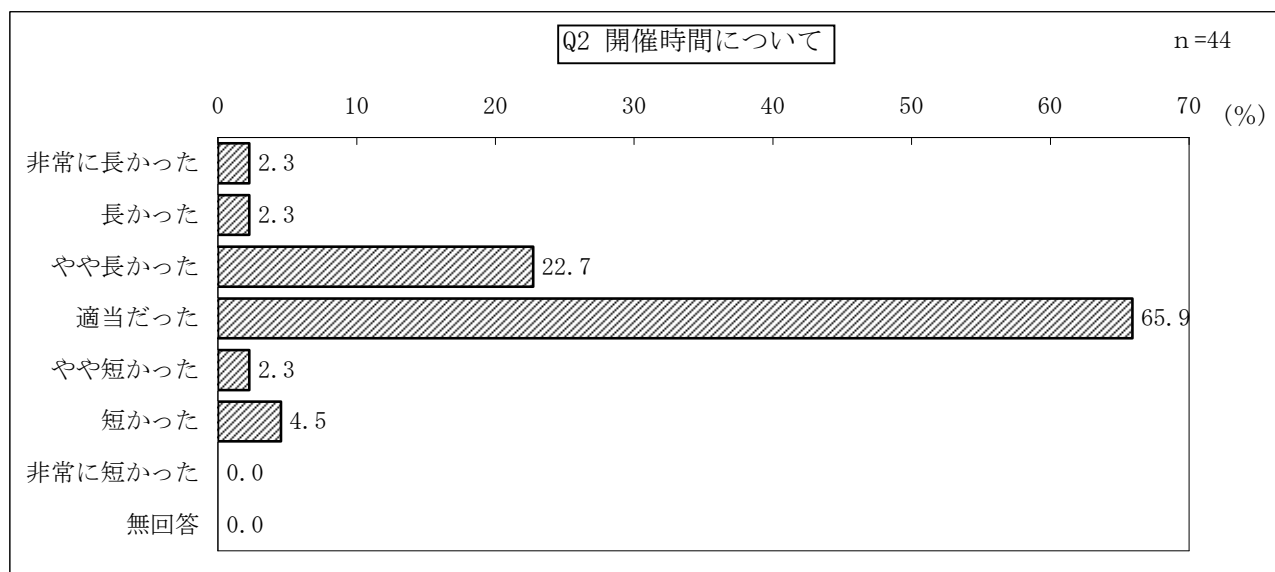
< 5 > あまり満足しなかった

- フロアーとの質疑の時間が短い。パネリストの資料が欲しい。(性別不明・40～50代)
- 市民の声の時間が短い。(男性・40～50代)
- つまり原発推進の話を進めていく場になっていたのか。温暖への関わりの話が弱かった。(男性・60代以上)

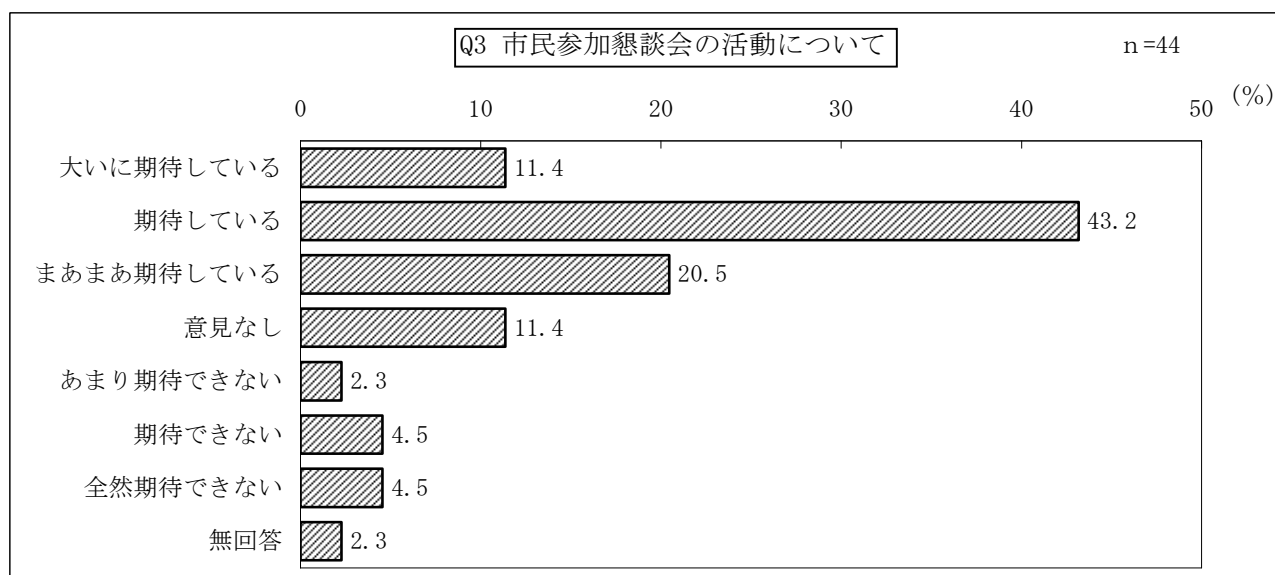
< 6 > 不満

- 九大の吉岡先生のみ、本質的な、かつ根元的な発言、提言、質問が出されました。他の発言は皮相的かつ新聞紙上で充分承知しています。他の情報媒体では得られにくい視点が必要です。高い税金の割には効果少ない(男性・60代以上)

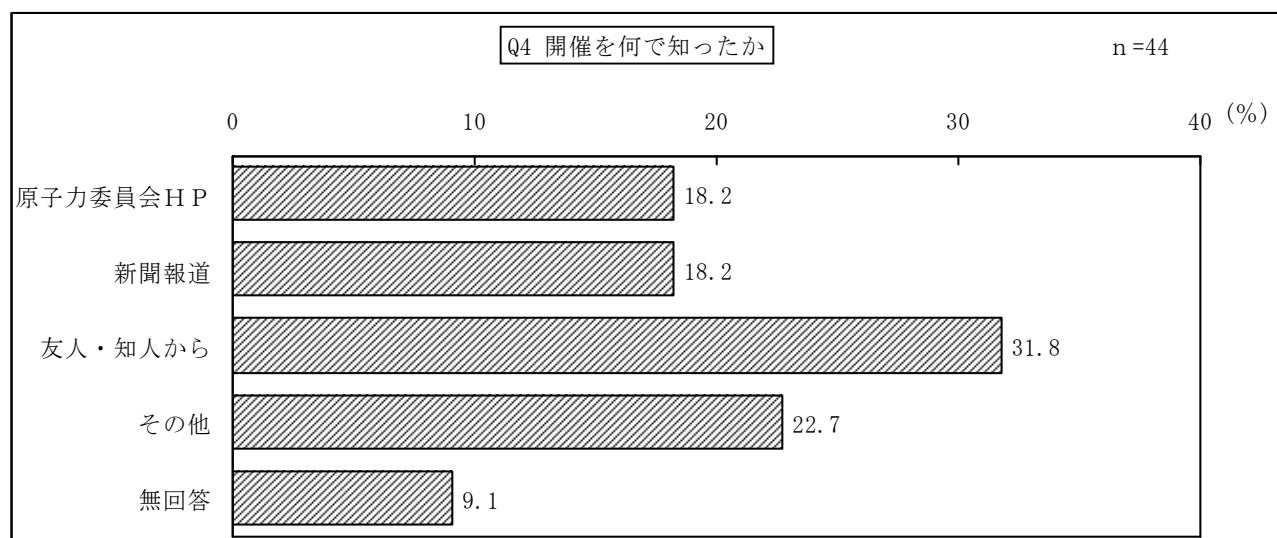
2. 本日の「原子力委員会 市民参加懇談会 in 鹿児島」の開催時間（3 時間）について、あなたのお考えに最も近いものの番号に○印をお付け下さい。



3. 今後の市民参加懇談会の活動について、あなたはどう思われますか。あなたのお考えに最も近いものの番号に○印をお付け下さい。



4. 本日の「原子力委員会 市民参加懇談会 in 鹿児島」の開催を何でお知りになりましたか。



<その他への記述>

- ☐ メール ☐ 会社・職場広報 ☐ チラシ

5. 本日の「原子力委員会 市民参加懇談会 in 鹿児島」で、あなたにとって興味深かった意見や事項、その他お気づきの点などがあればお書きください。

<市民参加懇談会について>

- ☐ 参加者 56 名のうち、5 割以上が関係者で占められているような「市民参加懇談会」に何の意味があるのか？（男性・40～50 代）
- ☐ 出光先生のお話。
 - ・新エネ＞原子力予算
 - ・新エネはバイト代 （男性・20～30 代）
- ☐ 施策としての情報の開示が充分になされていないと思います。また最初から原子力ありきで物事が進んでいるような感じで、一般的な議論に終始したかなという思いがしました。このようなフォーラムは何回あっても良いと思います。（男性・60 代以上）
- ☐ 「原子力があるから日本は省エネや新エネの取り組みが弱くなる」という考え方は面白いと思った。（男性・40～50）
- ☐ 原子力と環境問題について、まだ理解が進んでいない印象です。もっと専門家を呼んだ方がよい。（男性・40～50）
- ☐ 日本にとってエネルギー需給について考えることは重要だ。（男性・60 代以上）
- ☐ 学生も含め、パネリストのレベルが上がっていることを再認識した。そもそも市民懇は、
 - ・原子力委員会が活動家や市民の声を受け入れる門戸を開いている、というアリバイになる。
 - ・実際に会の開催を通じて、特に反対派の主張に生で触れられて、普段なまっている反射神経を鍛えられる。（ついでに原子力委員や室の変遷が矢面に立たなくて良い。）
 - ・開催地方自治体と事務局が情報交流、人間関係形成可能。（特に立地地域に有効）
 - ・地元メディアと原子力委員会との交流、かつ、地元メディアを通じた県民へのアピールがで

きる。

・内閣府という立場を活かして、個別政策を絡めずに原子力全般についてふわっと議論可能。などのメリットが確実にあると考えます。H14 以前から散々議論がなされて設立された市民懇については、今回で最終回と聞いていますが、その廃止に至るまでの議論があまりに不透明であり、それゆえに検討が不十分とも見えてしまいます。ぜひ原子力委員会が公開の場で、今後、委員会の広聴をどうするのかを議論すべきですし、その場は近日中に開催されるべきと思います。(恐いのは、日々の忙しさにかまけてきちんと取り上げないまま、“なんとなく終了”してしまうことです。) ちなみにメルマガは毎号愛読していますが、あくまで「広報」ツールなので片手落ちです。

この終了の機会をチャンスに変え、原子力委員自らによる広聴や内閣府が音頭を取っての省庁合同広聴、原子力のみならず、新エネや省エネも同時に取り上げた広聴等々、自由に頭の体操をやって欲しいです。(女性・20～30代)

- 吉岡先生の発言「文系・理系などの区分にとらわれない視点、立場が前提」→全体観、本値論からスタートすべき、との示唆と受取ります。
- 「マズローの欲求の5原則」にたとえての原子力理解、現状、分析が違う角度からの話で興味を持った。(男性・40～50代)
- 川内3号増設が動き出したこともあり、反対派の方がパフォーマンス的にTVカメラの前で意見を述べるシーンがあり、少し気分が悪かった。とてもよい会だとは思うが、参加者が少なすぎる。(女性・20～30代)
- 発表した学生に意見が集中し、気の毒であった。(男性・40～50代)

<情報提供・収集のあり方について>

- 全ての情報の公開・共有。(男性・40～50代)
- 市民への情報・広報が少ないし、分かりづらいと思います。(性別・年代不明)
- 原子力を含むエネルギーについて、正しい情報を分かりやすく生活者に伝え、議論を活発にしていく必要があると感じました。(男性・20～30代)
- 原子力の必要性を他の産業と比べ、リスクなど数値化して情報公開して欲しい。原子力は必要だと思う。(性別不明・40～50)

<エネルギー教育について>

- 発言者の追求ではないはず。教育の場における原子力の話が必要。(男性・60代以上)
- 学生の間から教育に取り入れて、心配だ、心配だといわない様に、必要である部分も分かってもらいたい。省エネ関心を持ってもらい、エネルギーの大切さを知る事。(女性・60代以上)
- 日本の自給率から危機感を感じたひとりです。未来の子供達に理解してもらう教育を必要とする。今日の参加者にお母さん女性の少なさにとても残念に思いました。(女性・60代以上)

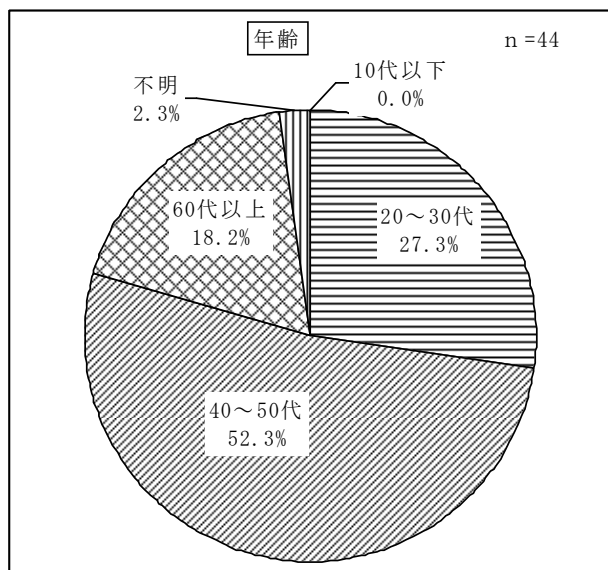
<その他>

- 電力ピークを抑えるライフスタイルの推奨や意識の啓蒙が必要と感じた。(男性・40～50代)
- 原子力に反対する人も、全否定しているわけではないこと。(男性・40～50代)

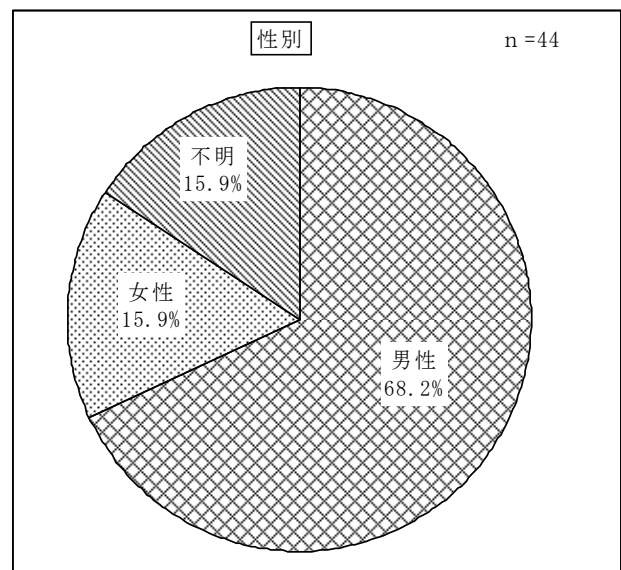
- 原発推進がCO2削減に貢献するのは確かですが、それが全てではない。原発の重要性を周知することも必要だが、新エネルギーへの地道な取り組みも必要。(男性・40～50代)
- CO2削減で原子力発電所建設（促進）を訴えているはずだが、CO2は増え続けでは、原子力発電所を増やしても（CO2が）減らないことの理由を、もっと整理して公表してもらいたい。(男性・20～30代)

6. 差し支えなければお答え下さい。

(1) 年齢



(2) 性別



以 上